

第1回タウンミーティング（地域自治会等意見交換会議） 議事要旨	
日時：平成30年7月1日（日）午後2時～午後3時30分	
場所：千一コミュニティセンター 多目的ホール（1）（2）	
対象中学校区：片山中学校（連合自治会区域：片山、千一）	
参加者数：14名	

会議冒頭、市長より中核市への移行等、吹田の現状について説明をした後、自由な意見交換を行った。	
市民意見・市の回答	
千一	<p>1 避難訓練の際、「スピーカーがない」との声が住民から出た。市によれば、北部から順次増やしているとのことだが、どうなっているのか。</p> <p>2 6月の地震について、発災1時間後には地域の見回りを行ったが、市の車などは後日まで見かけなかった。市の対応として、安全確認のためにすぐに巡回するのか、それとも住民に任せているのか。</p>
市長	<p>1 スピーカーを、どの位の密度で設置するか判断は難しい。団地やマンションの多い吹田市ではスピーカーの届きにくい。危機管理室に伝え、地域ごとに対応を考える。</p> <p>2 1日目に連合自治会長全員に電話を入れたが、そこから情報が行き渡るシステムを構築できていなかったのは反省点である。また、自主防災組織等には、発災後3日間は役所の手が届かないかもしれないことは伝えているが、周知されていなかったのは今後の課題である。</p>
千一	6月の地震について、小学校に避難所が設置されたという情報が全く届かなかった。情報を早急に届けてほしい。
市長	<p>災害対策本部を設置し、連合自治会長や自主防災組織には、市内の全小学校で避難所を開設したという情報は伝わったと思うが、全市民に伝わっていなかったのは反省点である。</p> <p>ホームページはアクセスが殺到すると見れなくなるが、Twitterで情報を発信してみると一瞬で十数万人に情報が届いた。これは、今後の情報伝達のあり方だと思う。</p>
片山	<p>1 各小学校に避難所を開設したという連絡は、福祉総務課から民生・児童委員にはあったが、連合自治会長にはなかった。自治会長が主に動いているので、自治会長に連絡していただきたかった。</p> <p>2 市長は公民館には訪問されたが、小学校はされなかったのが残念である。</p>
市長	<p>1 連絡網がなぜ機能しなかったのかは反省点である。吹田市の自治会の加入率は約半分であり、自治会とつながっていない18万人の市民にも、情報を伝えなければならない。1、2日目は広報車やスピーカーなどを使い、少し落ち着いたところに自治会長を通じて情報を拡散するという方法も考えられる。</p> <p>2 避難所がたくさんあり、こちらの小学校に伺えなかった。</p>

千一	6月の地震について、千一小学校の体育館の屋根がおかしかったので、市の職員に来ていただいたがすぐに帰った。なぜ最後までいないのか。もっと訓練を重ね対応できるよう教育をしていただきたい。
市長	訓練は本来地域でやっていただくものである。市役所は、平常業務を何とか回せるだけの職員数で動いているので、有事の際は、このようなことが起きる。自主防災組織の取り組みを一生懸命して、訓練もしている。
千一	6月の地震について、高齢者が、1人であることが寂しく不安だという理由で、避難したいと相談があった。しかし、避難所には市の職員が来ておらず、他に避難者もいなかったため、担当の民生・児童委員にはしばらく様子を見るようお願いした。避難所も「開設しました」というだけなのはいかがなものか。
市長	36ある小学校全部に市職員を配置するのは無理である。校長や教頭に避難所の開設をお願いしたが、うまく伝わっていないところがあった。自主防災組織として真っ先に地域の中心になるのが小学校だと思っているので、再度検証する。
市民 (地域不明)	<p>1 耐震診断や耐震化の補助金は、建築確認を受けた住宅に限るとするのが吹田市の方針だが、長年税金を払ってきたのに建築確認を受けていないという責任を問われ、補助がいっさい出ないのは納得できない。</p> <p>2 今回の地震で、要支援者の方々に対しては自分たちで集めたデータでしか動けなかった。民生・児童委員が把握しているデータを活用できないかという課題があったが、その課題は解決できたのか。</p>
市長	<p>1 市としては、基本的に建築確認を受けないと、データがなく、建築物として判断ができないので、補助金は出せない。今回の地震で、吹田市は国の災害救助法の適用地域になっているが、人命にかかわるのでなければ経費は出ない。ただし、これだけ地震が頻発すると、検討の必要があると思う。</p> <p>2 要支援者のリストは秘密性が高く、特殊詐欺グループなどに漏れたら大変なことになるので、要支援者自身も表に出さないことを希望される。自治会単位でリストやマップをつくるのではなく、お互いに挨拶する関係で何人かを知っている、という人が広がっていくしか方法がないのではないかと。</p>
千一	要支援者のリストについて、民生・児童委員には渡されるが、自治会長には渡されない。私は両方の役をしていたので活用できた。個人情報保護の問題はあるが、自治会長にも渡すべきではないか。
市長	民生・児童委員は厚生労働大臣と大阪府知事から委嘱を受けた公職であり、守秘義務があるので、それを守れる人しか入れない。両方を兼任されているのは1つのヒントかもしれない。
千一	メロード付近のJRの線路際に保管所ができたが、まるで刑務所のような異様な景観となっている。JRの敷地内であるが、何とかできないか。
市長	吹田市は景観を大事にしている。デザインにも配慮してもらう必要があるため、JRに伝える(※1)。

千一	<p>癌になっても安心して暮らせる吹田のまちづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長の癌に対する方針について伺いたい。 2 市民団体の活動には限界がある。行政の立場で、総合的な癌対策推進計画の策定や重点方策を推進する必要がある。中核市になる前に、体制の準備を図るなど予算をかけずに手近なところではできることが幾つもある。
市長	<ol style="list-style-type: none"> 1 癌患者への対応と、癌になるリスクをどう減らすかの両方に、市はどこまでかかわれるか。まず、癌患者を支えることを率先してやっていきたい。次に、癌になるリスクを減らすために、正しい情報をお伝えする。 2 中学生を対象に薬物とたばこ、それに酒に関する教育を行うのが年齢的に一番よいと考えており、実際にできるかどうかを今調べている。
片山	<ol style="list-style-type: none"> 1 上山手自治会の区域は、郵便ポストがないような開発が進まない不便な地域である。また、避難道路もないので、今後地震が発生する危険性が高く不安である。 2 最初のタウンミーティングで、市民病院の跡地の活用について未定とのことだったが、その後、どういう計画になったのか。
市長	<ol style="list-style-type: none"> 1 郵便ポストは日本郵政が減らしているのではないか。 2 跡地を売却するに際しての条件を、地域の要望をもとに、市でまとめている。何になるかというのは市としても全然見えていないが、近々公募をする予定である。

(※1) 総務交通室に確認したところ、保管所については、日本貨物鉄道(株)から吹田市が土地をお借りして、土木部総務交通室で建設をしたものである。建設をするにあたり、景観アドバイザー会議において助言をいただき、保管所内の自転車の盗難防止及び周囲の既設フェンスや緑との調和を図るため、現在のフェンスの仕様となったものであるとのことです。